



2026年4月、国際英語学部と経済学部を2専攻制へ再編し新たな学びを推進！ 未来のグローバルリーダーや複雑な現代社会を切り拓く経済人を養成します！

京都橘大学（京都市山科区、学長：日比野英子）では、2026年4月に国際英語学部国際英語学科に「グローバルスタディーズ専攻（仮称）」と「国際共生専攻（仮称）」、経済学部経済学科に「経済学専攻（仮称）」と「現代社会専攻（仮称）」を開設予定です。

グローバルスタディーズ専攻（仮称）では、2年次での留学を必須とし、多様な文化や価値観に触れることで、広い視野と深い洞察力を養います。また国際共生専攻（仮称）では、多様な留学生と共に京都をフィールドに、国際関係、国際観光、国際経済を学びます。

経済学専攻（仮称）では経済のあり方を学べる5つのコースを設置し、企業・自治体とのプロジェクトを通じて、社会の新しい豊かさを切り拓ける力を身につけます。現代社会専攻（仮称）では、フィールドワークを重視し、新たな暮らしや社会をデザインするため社会学へ越境する3つの領域を設置し、多様な学びを展開します。

国際英語学部国際英語学科 グローバルスタディーズ専攻（仮称）

▼特徴

- ・1年次に週6回の「英語集中プログラム」で読む・書く・話す・聞くの4技能を磨き、2年次での1年間の留学を通して、高い語学力の習得を目指します。
- ・豊富な海外経験と卓越した英語力を基礎に、国際的な感覚を身につけた未来のグローバルリーダーを養成します。
- ・国際関係や世界各国の文化、社会、経済学を学ぶことで多文化共生社会での課題解決力を養います。

国際英語学部国際英語学科 国際共生専攻（仮称）

▼特徴

- ・入学時に1言語集中型（英語）もしくは2言語型（英語＋フランス語、中国語、韓国語、ドイツ語）を選択し、言語を通じて世界の見方や文化を学びます。
- ・様々な国から留学生が集まり、多文化が共生するキャンパスで、異文化交流を通じてグローバルな視野を養います。
- ・留学生とともに国際都市・京都をフィールドに高度な語学力と教養、多様な価値観を身につけ、真の国際人を養成します。

経済学部経済学科 経済学専攻（仮称）

▼特徴

- ・地域経済、医療や社会保障、観光や文化など現代経済社会で注目される諸分野において、経済学の変容も踏まえた理論・歴史・政策に関する多様なアプローチを駆使して、新たな企画や政策を立案・提言する力を養います。
- ・5つのコース（金融・産業、地域・国際、公共経済・政策、医療・社会保障、観光・文化）を用意し、多様な学びを展開します。

経済学部経済学科 現代社会専攻（仮称）

▼特徴

- ・広い視点で経済を捉え直し、オルタナティブな暮らしや社会をデザインすることを目的に、「地域社会デザイン領域」、「メディア文化デザイン領域」、「ライフデザイン領域」の3つの領域を設置します。
- ・本専攻では、人々の暮らしの場を訪ね歩き、深く潜ることで、現代社会の課題の本質に迫るフィールドワークを重視しています。京都探求では、伝統産業やオーバーツーリズムなど京都の特徴的な課題を探求し、地方都市探求では、人口減少地域の課題などを探求します。またグローバル探求では、海外の都市の課題を探求します。

専攻名は仮称、2026年4月改組予定。計画内容は予定であり変更することがあります。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp

国際英語学部国際英語学科 グローバルスタディーズ専攻（仮称）

▼概要

専攻名称：グローバルスタディーズ専攻（仮称）

開設時期：2026年4月

入学定員：40名

学びの特徴：

【グローバルな視野と多文化共生社会での課題解決力を備えた未来のグローバルリーダーを養成】

1年間の留学を必須とし、帰国後は英語で専門科目を学びます。国際関係や文化、社会、経済を学び、グローバルリーダーに必要な国際的な視野と、多文化共生社会での課題解決力を養い、グローバル企業や国際機関での活躍を目指します。

想定進路：

グローバル企業（商社、メーカー、情報通信、金融など）、日系企業の国際部門、国際機関、外務省など

国際英語学部国際英語学科 国際共生専攻（仮称）

▼概要

専攻名称：国際共生専攻（仮称）

開設時期：2026年4月

入学定員：80名

学びの特徴：

【キャンパス内で多様な留学生たちとともに学び、留学に負けない価値観や教養を身につけた国際人を養成】

世界の様々な地域から集まる留学生と、国際都市・京都とともに学び、異文化交流を通じて、高度な語学力と教養多様な価値観を身につけます。

想定進路：

航空関連企業（CA、グランドスタッフなど）、ホテル、NPO・NGO、英語科教員、翻訳・通訳、海外大学進学など

経済学部経済学科 経済学専攻（仮称）

▼概要

専攻名称：経済学専攻（仮称）

開設時期：2026年4月

入学定員：200名

学びの特徴：

【リーダーシップ教育や企業・自治体とのプロジェクトを通じて課題解決力を備えたビジネスリーダーを養成】

AI時代に求められるデータサイエンスなどの思考法やスキルを修得するとともに、経済学の多様なアプローチを駆使して、新しい企画や政策を立案・提言する力を養うことができます。

想定進路：

製造、金融・保険、販売・小売、サービス業、一般行政、警察・消防、NPO、医療機関（運営・管理部門）など

経済学部経済学科 現代社会専攻（仮称）

▼概要

専攻名称：現代社会専攻（仮称）

開設時期：2026年4月

入学定員：40名

学びの特徴：

【文理の垣根を越えた知識を習得し、新たな暮らしや社会をデザインする力を身につけた人材を養成】

フィールドワークを中心とした実学教育を行います。従来の経済の仕組みでは解決できない課題が溢れる現代社会において、3つの領域の学びを軸に、広い視野と固定観念にとらわれない発想で課題を解決する力を養うことができます。

想定進路：

広告、IT、観光、一般行政、警察・消防、NPO、医療機関（運営・管理部門）など

専攻名は仮称、2026年4月改組予定。計画内容は予定であり変更することがあります。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp